

2011年10月5日

セメント海上輸送能力の増強について

住友大阪セメント株式会社（東京都千代田区、社長：関根福一）は、海上輸送の安定化・増強のため、業務提携先である電気化学工業株式会社よりセメントタンカー1隻の専用船契約を引き継ぐことを決定しました。

当社は、最適生産体制構築のための栃木工場キルン1基化にともない、今後関東地域への海上輸送量の増加が見込まれることから、顧客への安定供給を確保するためセメント船団の増強を検討しておりました。一方、電気化学工業株式会社はセメントタンカーの余剰輸送力の解消による物流最適化を目指しておりました。今回両社間の思惑が一致、双方メリット享受となることから本船専用船契約を当社が引き継ぐこととなりました。

船名は「青海丸」（積高 5,500ト）。2008年3月就航）、本年10月から本船をセメント船団に加え当社保有セメントタンカーは19隻となります。



東日本大震災により、当社の東北地方の重要物流拠点である小名浜港SS、仙台港SSの両臨海SSが被災しておりましたが、小名浜港SSは9月末に海送受入を再開し、仙台港SSは10月初旬に同じく再開予定です。今後、当該地域の復旧・復興が本格化する際には、セメントの安定供給を図る意味でも、今回の海上輸送能力の増強は意義あるものと考えております。

当社は今回の海上輸送能力の増強により、セメント供給の更なる安定化を図ることで、顧客サービスに万全を期します。

【本件に関する問合せ先】

住友大阪セメント株式会社 総務部 IR 広報グループ TEL : 03 5211 4505

以上